

立命館 人間科学研究

第6号

2003年11月

研究論文
痴呆を伴う高齢者に対する認知リハビリテーションの効果に 関する予備的研究・・・・吉田 甫・大川一郎・土田宣明(1)
特徴間類似性モデルとその最小二乗解・・・・・足立 浩平(11)
田中ビネー知能検査 の開発 1 1 歳級~13歳級の検査問題を中心として
・・・・・大川一郎・中村淳子・野原理恵・芹澤奈菜美(25)
あいづちを用いた聞き手による偽装
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
聴覚障害と知的障害がある個人における動詞・目的語 2 語文の獲得と般化の検討
・・・・・・・・吉岡昌子・坂本真紀・武藤 崇・望月 昭(55)
研究ノート
知覚判断における「基準」の多様性とヒューマンファラシー
の諸相・・・・・・・・・・・・・・・・・・松田 隆夫 (67)
The frame of reference in anomalous motion illusions and ergonomics of human fallacy
KITAOKA Akiyoshi (77)
「注意」と刺激性制御トポグラフィー:ADHDの支援方法
への示唆・・・・・・・・・・・・・・・・・・武藤 崇(81)
田中ビネー知能検査開発の歴史・・・・中村淳子・大川一郎(93)
十 人於上兴上明初光研內氏

立命館大学人間科学研究所

INSTITUTE OF HUMAN SCIENCES, RITSUMEIKAN UNIVERSITY